

校合式

# 校合式

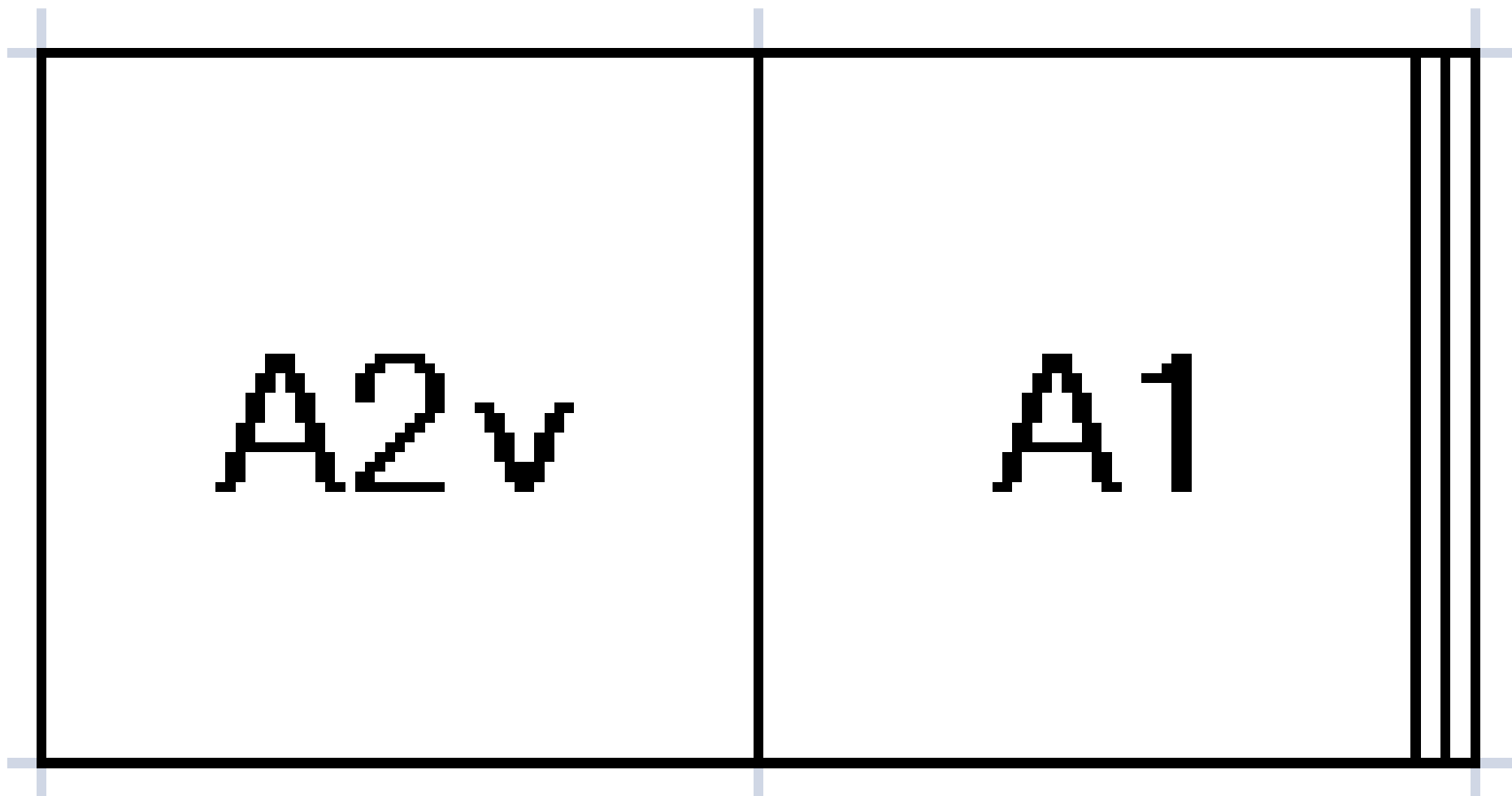
## I. 校合式

校合式とは本の様子を折記号を使って表示する式。

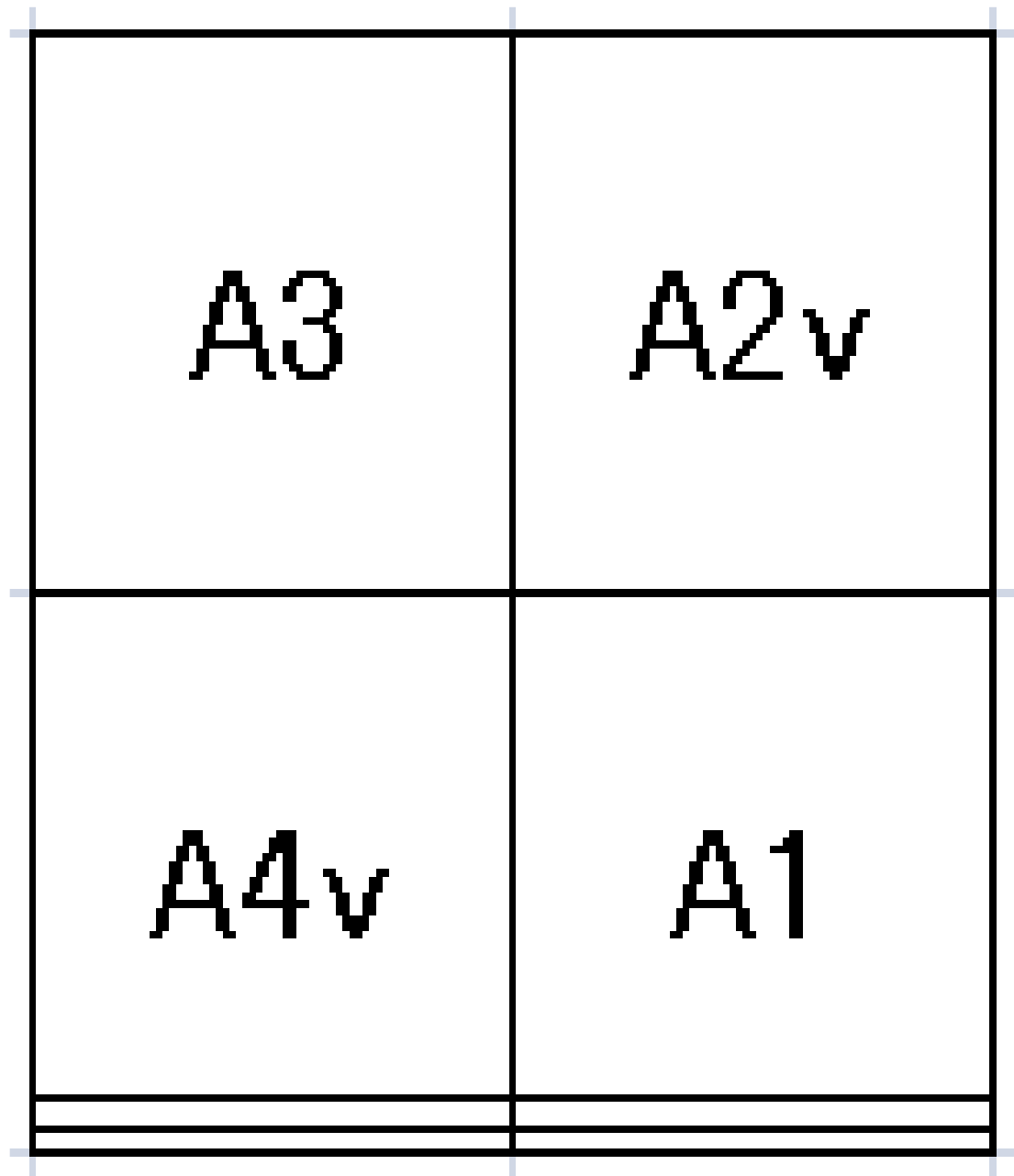
## II. 判型

「組版を割り付け」て印刷し、「折り畳む」と「折丁」という紙の束ができる。そして二折判、四折判などの「判型」ができる。従って、版型とは全紙の折り畳み方と全紙の使用枚数を示す用語

二折



四折



# 八折

A3	A6v	A5	A4v
A2v	A7	A8v	A1

# 判型

$$2^\circ : A^2$$

$$4^\circ : A^4$$

$$8^\circ : A^8$$

但し

$$A^4 \neq 4^\circ$$

$$A^8 \neq 8^\circ$$

判型は大きさを表示しない。

× 二折の方が八折より大きい

# 右肩数字

① 折丁中の紙葉数を示す。

A<sup>8</sup> A折丁は8枚

② 右肩数字は偶数

どの判型も最終的には二折の状態なので、紙葉数(右肩数字)は偶数。

# 折記号の表示場所

折記号とは製本で丁合取りをするための記号(文字、数字、記号)。  
図1に示したように、折記号は本文より下の行に示されている。

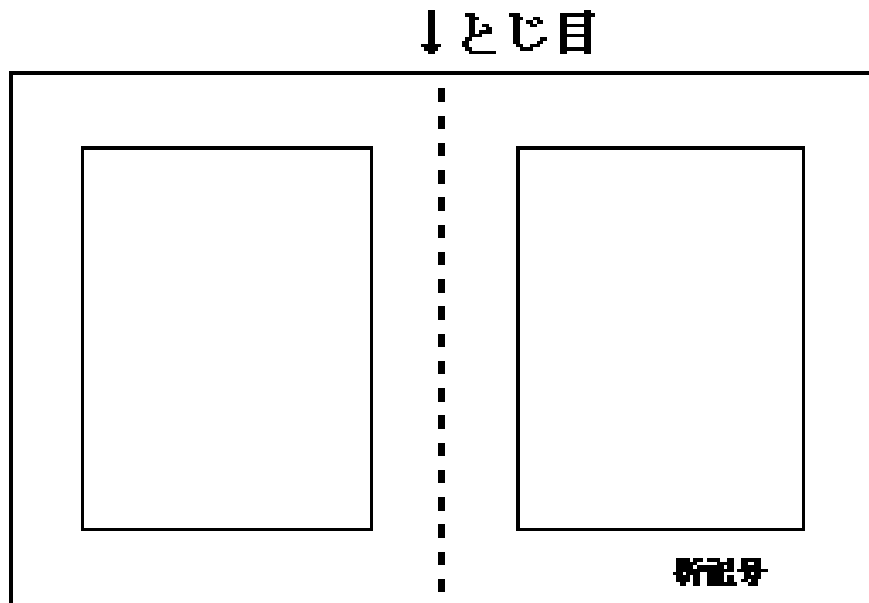


図1：本の見開き

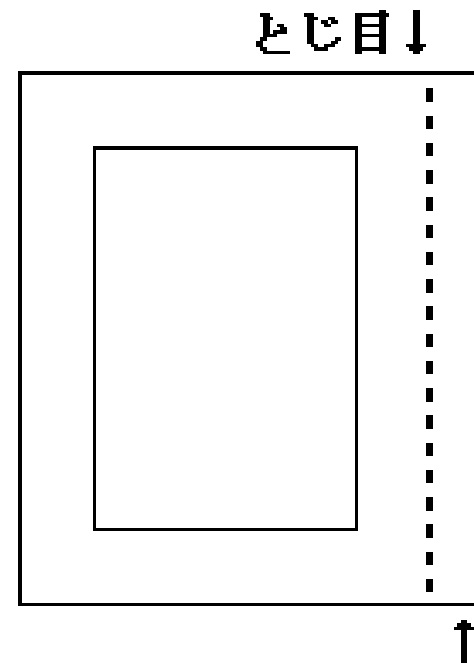


図2：スタップ



# 折記号の表記

## 1. 表示形

### ① 文字 A-Z

アルファベット23文字で、I(またはJ)、U(またはV)。Wは使わないただし、大文字と小文字は区別して使う。

スモール・キャピタルは使わない。

### ② 数字 数字はこのまま使う。

### ③ 記号 そのまま使う。ただし、順序関係はない。

### ④ 重複文字 原則は大文字で。 Aa → 2A

### ⑤ 連続文字 連続する文字や数字はハイフンで簡略化

A-Z Aa-Zz → A-Z 2A-2Z → A-2Z

# 折丁中の紙葉の姿(原則)

1. 折丁の紙葉とは「印刷機を通った紙葉」
2. 折丁内の紙葉はとじ目を境にして2枚の紙葉が  
つながっている。  
= とじ目を境にした左右の紙葉数は同数

# 折丁を折記号で列挙

1. 白紙を用意し、各折丁を折記号と紙葉数(右肩数字)で列挙する。
2. 折記号は表示された形を忠実に示す。
3. 通常と異なる折丁の状態(紙葉の削除、追加)を調査する。  
折丁の紙葉数が**奇数**の時は特に注意する必要がある。

## 校合式にするために

1. 折記号が連続し、紙葉数が同じであれば、ハイフンで結ぶ。

$A^4 B^4 C^4 D^4 E^4 F^4 \rightarrow A-F^4$

2. 折記号は連続しているが、紙葉数が異なれば、独立に示す。

$A^4 B^4 C^2 D^4 E^4 F^4 \rightarrow A-B^4 C^2 D-F^4$

# 調査

1. 折記号表示(および折記号数字)
2. 折丁中の紙葉数が奇数
3. 白紙の扱い
4. 正誤表の紙葉は必要な紙葉(目録規則)
5. 出版目録の紙葉の扱い
6. 図版の紙葉の扱い

*A sequel to the apology on reseigning the vicarage of Catterick, Yorkshire* by Theophilus Lindsey. London, 1776.

紙葉の折記号の有無	□	□	A4	A3	□	□	□	□
-----------	---	---	----	----	---	---	---	---

説明	表	T.P.	白	vii	v	xi	ix	xv	xiii
	裏	白	句	viii	vi	xii	x	xvi	xiv

綴じ目